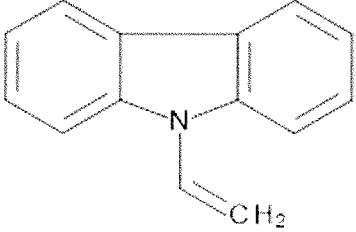


## 微生物を用いる変異原性試験結果報告書

### 1. 一般的事項

新規化学物質の名称 (IUPAC 命名法による)	9-ビニルカルバゾール		
別名			
構造式又は示性式 (いずれも不明な場合はその製法の概要)			
試験に供した新規化学物質の純度	98.6% (GC)	試験に供した新規化学物質の Lot No.	WXBC7019V
不純物の名称及び濃度			
CAS 番号	1484-13-5	蒸気圧	
分子量	193.24	分配係数	
融点	60-65°C (lit)	常温における性状	フレーク
沸点	154-155°C at 3 mmHg (lit)		
安定性	推奨保管条件下では安定		
溶媒に対する溶解度等	溶媒	溶解度	溶媒中での安定性
	水	50 mg/mL で不溶	発熱、ガスの発生等の反応性なし
	DMSO	50 mg/mL で溶解	発熱、ガスの発生等の反応性なし
	アセトン		
	その他		

(備考) 上記被験物質情報は、製造元からの情報による。なお、溶解性及び溶媒中の安定性については、株式会社ボゾリサーチセンターで実施した溶解性試験の結果である。

## 2. 試験に用いた菌株

菌株名	入手先	入手年月日
<i>Salmonella typhimurium</i> TA98	国立医薬品食品衛生研究所	2017年4月12日
<i>Salmonella typhimurium</i> TA100	国立医薬品食品衛生研究所	2017年4月12日
<i>Salmonella typhimurium</i> TA1535	国立医薬品食品衛生研究所	2017年4月12日
<i>Salmonella typhimurium</i> TA1537	国立医薬品食品衛生研究所	2017年4月12日
<i>Escherichia coli</i> WP2uvrA	国立医薬品食品衛生研究所	2017年4月12日

## 3. S9 Mix

### (1) S9の入手方法等

自製・購入の別	1.自製 <input checked="" type="checkbox"/> 購入（製造元：株式会社ボゾリサーチセンター）
製造年月日	2019年8月2日製造
購入の場合 Lot No.	S9-190802
保存温度	-70°C 以下

### (2) S9の調製方法

使用動物		誘導物質	
種・系統	ラット・SD系	名称	PB& 5,6-BF
性	雄	投与方法	腹腔内投与
週齢	7週齢	投与期間及び 投与量 (mg/kg 体重)	PB4日間連続投与: 30+60+60+60(mg/kg 体重) PB投与3日目BF投与: 80(mg/kg 体重)
体重	221.4~250.8 g		

### (3) S9Mixの組成

成分	S9Mix 1mL 中の量	成分	S9Mix 1mL 中の量
S9	0.1 mL	NADPH	4 µmol
MgCl <sub>2</sub>	8 µmol	NADH	4 µmol
KCl	33 µmol	Na-リン酸緩衝液	100 µmol
グルコース-6-リン酸	5 µmol	その他 ( )	

#### 4. 被験物質溶液の調製

使用溶媒	名称	製造元	Lot No.	グレード	純度(%)
	DMSO	富士フイルム和光純薬株式会社	KCK3751	試薬特級	100.0%
溶媒選択の理由	<p>本試験で使用する溶媒を選定するため、水、DMSOの50 mg/mLでの溶解性試験を実施した。その結果、水に不溶であったが、DMSOに溶解し、溶媒添加直後、発熱、ガスの発生等の反応性は認められなかった。溶媒添加1時間後においても色調変化等の反応性も認められなかったためDMSOを溶媒として選択した。なお、被験液の調製には、モレキュラシーブス 4A 1/16（富士フイルム和光純薬株式会社；Lot No. YLP7563）で脱水したDMSOを使用した。</p>				
被験物質溶液の性状	<input checked="" type="checkbox"/> 溶解	<input type="checkbox"/> 懸濁	<input type="checkbox"/> その他		
被験物質が難溶性の場合における懸濁等の方法					
溶液の調製から使用までの保存時間と温度	用時調製・室温				
純度換算の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				

#### 5. 前培養の条件

##### (1) 条件

ニュートリエントブロス	名称	製造元	Lot No.
	Nutrient Broth No.2	OXOID LTD.	2202237
前培養時間	9時間		
培養容器(形状・容器)	L字管・48mL		
培養液量	10 mL	接種菌量	<i>S.typhimurium</i> 株 20 μL <i>E.coli</i> 株 10 μL

(2) 前培養終了時の生菌数等

菌株名		塩基対置換型			フレームシフト型	
		TA100	TA1535	WP2 <i>uvrA</i>	TA98	TA1537
生菌数 ( $\times 10^9$ /mL)	用量設定試験	5.10	4.28	7.77	5.29	4.20
	本試験	5.04	4.72	7.70	5.57	4.36
	追加・確認試験	5.10	4.43	7.73	5.48	4.65
測定方法		1. O.D.値より換算 2. 段階希釈法 3. その他				

6. 最小グルコース寒天平板培地

自製・購入の別	1. 自製 2. 購入 (購入元 極東製薬工業株式会社)
製造年月日	2019年10月25日製造
購入の場合の Lot No.	DZAKAP02
使用寒天の名称・製造・Lot No.	大洋寒天・SSK セールス株式会社・Lot No. BM-M5-277

7. 試験の方法

(1) 試験方法とその選択理由

採用した試験方法	1. プレインキュベーション法 2. プレート法 3. その他
その他の場合は その選択理由	

(2) 試験条件

組 成	菌懸濁液	0.1 mL
	被験物質溶液	0.1 mL
	Na-リン酸緩衝液（直接法による場合）	0.5 mL
	S9Mix（代謝活性化法による場合）	0.5 mL
	トップアガー	2.0 mL
プレインキュベーション	温度	37°C
	時間	20 分間
インキュベーション	温度	37°C
	時間（用量設定試験）	48 時間
	時間（本試験）	49 時間
	時間（追加・確認試験）	48.5 時間

8. コロニー計測の方法

計測方法	<input type="checkbox"/> 1. マニュアル計測 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 機器計測
補正の有無	1 無 <input checked="" type="checkbox"/> 2 有（補正の方法 面積補正）

## 9. 試験の結果

(1) 試験の結果は別表による。

(2) 結果の判定

判定	陽性 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">陰性</span>
<p>判定の理由</p> <p>用量設定試験の結果を別表 1 に、本試験の結果を別表 2、3 に、追加試験の結果を別表 4、5 に、確認試験の結果を別表 6、7 に、比活性値を別表 8 に示した。なお、図 1~10 は別表 2、3、図 11 は別表 6、図 12 は別表 7 より作成した。また、当該試験の参考データとして参照した背景データを Attachment として添付した。</p> <p>用量設定試験、本試験、追加試験及び確認試験ともに代謝活性化の有無にかかわらず <i>S. typhimurium</i> TA100、TA98 及び代謝活性化した場合の <i>E. coli</i> WP2 <i>uvrA</i> 及び <i>S. typhimurium</i> TA1537 において、陰性対照値の 2 倍以上となる復帰変異コロニー数の用量依存的な増加を示し、再現性も認められた。代謝活性化の有無にかかわらず <i>S. typhimurium</i> TA1535 及び代謝活性化しない場合の <i>S. typhimurium</i> TA1537 及び <i>E. coli</i> WP2 <i>uvrA</i> においては、陰性対照値の 2 倍以上となる復帰変異コロニー数の増加は認められず、用量反応性も認められなかった。なお、最大比活性値は、本試験の代謝活性化した場合の <i>S. typhimurium</i> TA100 の 1.22 µg/plate における <math>8.54 \times 10^5</math> (Rev/mg) であった。</p> <p>一方、陽性対照群では陰性対照群と比較して 2 倍以上となる復帰変異コロニー数の増加を示したことから、使用菌株の復帰突然変異誘発物質に対する反応は適切であったことが確認され、試験は適切に実施されたものと考えられた。</p> <p>以上の試験結果より、本試験条件下において 9-ビニルカルバゾールは、微生物に対する遺伝子突然変異誘発能を有する（陽性）と判定した。</p>	

### (3) 参考事項

本被験物質による沈殿は、代謝活性化の有無にかかわらず 313 µg/plate 以上の用量で認められた。本被験物質による菌に対する生育阻害は、代謝活性化の有無にかかわらず *S. typhimurium* TA1535、TA1537 の 39.1 µg/plate 以上、代謝活性化の有無にかかわらず *S. typhimurium* TA98、TA100 の 78.1 µg/plate 以上の用量で認められた。

代謝活性化の有無にかかわらず *S. typhimurium* TA 株においては、用量設定試験にて生育阻害を示さない用量数が 4 用量以上得られなかったため、本試験と同一用量で追加試験を実施し、再現性の確認をした。また、代謝活性化した場合の *E. coli* WP2 *uvrA* においては低用量での復帰変異コロニー数の増加が本試験の用量では確認できなかったため 19.5、9.77、4.88、2.44、1.22 µg/plate の 5 用量で確認試験を実施した。代謝活性化した場合の *S. typhimurium* TA1537 においてはより狭い用量域でより明確な用量反応性が確認できるよう 1.00、2.00、3.00、4.00、5.00 µg/plate の 5 用量で確認試験を実施した。

被験液の調製及び試験操作は、紫外線吸収膜付蛍光灯下で実施した。

(別表1)

## 試験結果表 (用量設定試験)

被験物質の名称: 9-ビニルカルバゾール

No. T-3097

試験実施期間		2019年11月27日 より 2019年12月2日					
代謝活性化系の有無	被験物質の用量 (μg/プレート)	復帰変異数(コロニー数/プレート)					
		塩基置換型			フレームシフト型		
		TA100	TA1535	WP2uvrA	TA98	TA1537	
S9Mix (-)	陰性対照 (DMSO)	100 102 ( 101 )	8 7 ( 8 )	24 18 ( 21 )	25 24 ( 25 )	8 7 ( 8 )	
	1.22	211 175 ( 193 )	6 8 ( 7 )	21 16 ( 19 )	26 23 ( 25 )	6 5 ( 6 )	
	4.88	540 551 ( 546 )	6 4 ( 5 )	21 15 ( 18 )	41 42 ( 42 )	6 7 ( 7 )	
	19.5	1311 1342 ( 1327 )	7 5 ( 6 )	18 16 ( 17 )	122 160 ( 141 )	8 9 ( 9 )	
	78.1	721 * 713 * ( 717 )	3 * 3 * ( 3 )	21 22 ( 22 )	171 * 175 * ( 173 )	5 * 8 * ( 7 )	
	313 #	657 * 671 * ( 664 )	4 * 4 * ( 4 )	21 24 ( 23 )	145 * 140 * ( 143 )	5 * 4 * ( 5 )	
	1250 #	402 * 387 * ( 395 )	6 * 5 * ( 6 )	24 21 ( 23 )	92 * 75 * ( 84 )	6 * 6 * ( 6 )	
	5000 #	331 * 300 * ( 316 )	7 * 8 * ( 8 )	18 24 ( 21 )	80 * 52 * ( 66 )	7 * 5 * ( 6 )	
	S9Mix (+)	陰性対照 (DMSO)	111 112 ( 112 )	9 7 ( 8 )	25 24 ( 25 )	32 34 ( 33 )	8 7 ( 8 )
		1.22	621 649 ( 635 )	8 14 ( 11 )	40 32 ( 36 )	56 41 ( 49 )	6 7 ( 7 )
4.88		1865 1873 ( 1869 )	11 9 ( 10 )	100 98 ( 99 )	160 141 ( 151 )	36 35 ( 36 )	
19.5		800 725 ( 763 )	11 7 ( 9 )	141 111 ( 126 )	272 272 ( 272 )	11 9 ( 10 )	
78.1		781 * 705 * ( 743 )	4 * 3 * ( 4 )	72 91 ( 82 )	62 * 56 * ( 59 )	11 * 5 * ( 8 )	
313 #		46 * 55 * ( 51 )	0 * 0 * ( 0 )	71 41 ( 56 )	44 * 32 * ( 38 )	3 * 0 * ( 2 )	
1250 #		26 * 18 * ( 22 )	0 * 0 * ( 0 )	60 44 ( 52 )	26 * 31 * ( 29 )	0 * 0 * ( 0 )	
5000 #		30 * 30 * ( 30 )	0 * 0 * ( 0 )	39 38 ( 39 )	21 * 35 * ( 28 )	0 * 0 * ( 0 )	
陽性対照		名称	AF-2	SAZ	AF-2	AF-2	IGR-191
		用量 (μg/プレート)	0.01	0.5	0.01	0.1	1.0
	コロニー数/プレート	540 671 ( 606 )	200 232 ( 216 )	145 144 ( 145 )	400 395 ( 398 )	1254 1572 ( 1413 )	
	名称	B[a]P	2AA	2AA	B[a]P	B[a]P	
S9Mixを必要とするもの	用量 (μg/プレート)	5.0	2.0	10.0	5.0	5.0	
	コロニー数/プレート	1019 940 ( 980 )	258 232 ( 245 )	602 600 ( 601 )	220 246 ( 233 )	83 68 ( 76 )	

(備考)

AF-2 : 2-(2-フリル)-3-(5-ニトロ-2-フリル)アクリルアミド  
 SAZ : アジ化ナトリウム  
 IGR-191 : 2-メトキシ-6-クロロ-9-[3-(2-クロロエチル)アミノプロピルアミノ]アクリジン・2HCl  
 2AA : 2-アミノアントラセン  
 B[a]P : ベンゾ[a]ピレン

\* : 被験物質による生育阻害が認められたことを示す。

# : 被験物質による沈殿が認められたことを示す。

( )内は、2枚のプレートの平均値を示す。



(別表2)

## 試験結果表 (本試験:-S9Mix)

被験物質の名称: 9-ビニルカルバゾール

No. T-3097

試験実施期間		2019年12月10日 より 2019年12月13日					
代謝活性化系の有無	被験物質の用量 ( $\mu$ g/プレート)	復帰変異数(コロニー数/プレート)					
		塩基対置換型			フレームシフト型		
		TA100	TA1535	WP2uvrA	TA98	TA1537	
S9Mix (-)	陰性対照 (DMSO)	118 130 ( 124 )	7 7 ( 7 )	25 21 ( 23 )	18 24 ( 21 )	10 6 ( 8 )	
	0.305	157 155 ( 156 )	NT	NT	NT	NT	
	0.610	179 213 ( 196 )	NT	NT	NT	NT	
	1.22	217 254 ( 236 )	NT	NT	NT	NT	
	2.44	402 403 ( 403 )	12 6 ( 9 )	NT	27 27 ( 27 )	9 8 ( 9 )	
	4.88	661 650 ( 656 )	11 11 ( 11 )	NT	42 46 ( 44 )	4 4 ( 4 )	
	9.77	888 932 ( 910 )	4 5 ( 5 )	NT	69 75 ( 72 )	6 9 ( 8 )	
	19.5	1205 1455 ( 1330 )	2 6 ( 4 )	NT	179 178 ( 179 )	11 11 ( 11 )	
	39.1	NT	6 * 7 * ( 7 )	NT	189 170 ( 180 )	10 * 6 * ( 8 )	
	78.1	NT	3 * 4 * ( 4 )	NT	209 * 229 * ( 219 )	5 * 4 * ( 5 )	
	156	NT	NT	NT	NT	NT	
	313 #	NT	NT	22 25 ( 24 )	NT	NT	
	625 #	NT	NT	26 29 ( 28 )	NT	NT	
	1250 #	NT	NT	16 17 ( 17 )	NT	NT	
	2500 #	NT	NT	15 21 ( 18 )	NT	NT	
	5000 #	NT	NT	24 26 ( 25 )	NT	NT	
	陽性対照	S9Mixを必要としなもの	名称	AF-2	SAZ	AF-2	ICR-191
		用量 ( $\mu$ g/プレート)	0.01	0.5	0.01	0.1	1.0
		コロニー数/プレート	670 635 ( 653 )	277 299 ( 288 )	153 140 ( 147 )	462 437 ( 450 )	1655 1534 ( 1595 )

(備考)

AF-2 : 2-(2-フリル)-3-(5-ニトロ-2-フリル)アクリルアミド

SAZ : アジ化ナトリウム

ICR-191 : 2-メトキシ-6-クロロ-9-[3-(2-クロロエチル)アミノプロピルアミノ]アクリジン・2HCl

\*: 被験物質による生育阻害が認められたことを示す。

#: 被験物質による沈殿が認められたことを示す。

NT: 試験せず。

( )内は、2枚のプレートの平均値を示す。

(別表3)

## 試験結果表 (本試験:+S9Mix)

被験物質の名称: 9-ビニルカルバゾール

No. T-3097

試験実施期間		2019年12月10日 より 2019年12月13日					
代謝活性化系の有無	被験物質の用量 ( $\mu$ g/プレート)	復帰変異数(コロニー数/プレート)					
		塩基対置換型			フレームシフト型		
		TA100	TA1535	WP2uvrA	TA98	TA1537	
S9Mix (+)	陰性対照 (DMSO)	148 117 ( 133 )	11 12 ( 12 )	27 29 ( 28 )	29 36 ( 33 )	8 8 ( 8 )	
	0.153	132 157 ( 145 )	NT	NT	NT	NT	
	0.305	263 252 ( 258 )	NT	NT	NT	NT	
	0.610	611 607 ( 609 )	NT	NT	38 48 ( 43 )	NT	
	1.22	983 1367 ( 1175 )	NT	NT	53 76 ( 65 )	NT	
	2.44	1421 1483 ( 1452 )	15 8 ( 12 )	NT	138 87 ( 113 )	35 42 ( 39 )	
	4.88	1753 1855 ( 1804 )	6 10 ( 8 )	NT	235 205 ( 220 )	41 35 ( 38 )	
	9.77	NT	17 16 ( 17 )	NT	399 381 ( 390 )	25 22 ( 24 )	
	19.5	NT	15 16 ( 16 )	NT	574 554 ( 564 )	11 11 ( 11 )	
	39.1	NT	22 * 18 * ( 20 )	NT	NT	3 * 3 * ( 3 )	
	78.1	NT	4 * 3 * ( 4 )	NT	NT	0 * 0 * ( 0 )	
	156	NT	NT	NT	NT	NT	
	313 #	NT	NT	72 81 ( 77 )	NT	NT	
	625 #	NT	NT	56 71 ( 64 )	NT	NT	
	1250 #	NT	NT	77 78 ( 78 )	NT	NT	
	2500 #	NT	NT	44 45 ( 45 )	NT	NT	
	5000 #	NT	NT	35 41 ( 38 )	NT	NT	
	陽性対照	名称	B[a]P	2AA	2AA	B[a]P	B[a]P
		用量 ( $\mu$ g/プレート)	5.0	2.0	10.0	5.0	5.0
		コロニー数/プレート	1238 1135 ( 1187 )	221 219 ( 220 )	577 699 ( 638 )	237 250 ( 244 )	87 73 ( 80 )

(備考)

B[a]P : ベンゾ[a]ピレン

2AA : 2-アミノアントラセン

\*: 被験物質による生育阻害が認められたことを示す。

#: 被験物質による沈殿が認められたことを示す。

NT: 試験せず。

( )内は、2枚のプレートの平均値を示す。

(別表4)

## 試験結果表 (追加試験:-S9Mix)

被験物質の名称: 9-ビニルカルバゾール

No. T-3097

試験実施期間		2019年12月17日 より 2019年12月20日			
代謝活性化系の有無	被験物質の用量 ( $\mu\text{g}/\text{プレート}$ )	復帰変異数(コロニー数/プレート)			
		塩基対置換型		フレームシフト型	
		TA100	TA1535	TA98	TA1537
S9Mix (-)	陰性対照 (DMSO)	97 108 ( 103 )	11 8 ( 10 )	16 16 ( 16 )	8 7 ( 8 )
	0.305	140 136 ( 138 )	NT	NT	NT
	0.610	178 162 ( 170 )	NT	NT	NT
	1.22	211 220 ( 216 )	NT	NT	NT
	2.44	319 396 ( 358 )	13 6 ( 10 )	28 25 ( 27 )	16 8 ( 12 )
	4.88	567 635 ( 601 )	15 15 ( 15 )	41 31 ( 36 )	4 7 ( 6 )
	9.77	1014 1090 ( 1052 )	5 11 ( 8 )	57 57 ( 57 )	10 6 ( 8 )
	19.5	1756 1897 ( 1827 )	10 11 ( 11 )	114 102 ( 108 )	8 12 ( 10 )
	39.1	NT	5 * 7 * ( 6 )	145 165 ( 155 )	11 * 8 * ( 10 )
	78.1	NT	10 * 8 * ( 9 )	194 * 163 * ( 179 )	10 * 10 * ( 10 )
陽性対照	名称	AF-2	SAZ	AF-2	ICR-191
	用量 ( $\mu\text{g}/\text{プレート}$ )	0.01	0.5	0.1	1.0
	コロニー数/プレート	663 623 ( 643 )	321 359 ( 340 )	438 453 ( 446 )	1678 1651 ( 1665 )

(備考)

AF-2 : 2-(2-フリル)-3-(5-ニトロ-2-フリル)アクリルアミド

SAZ : アジ化ナトリウム

ICR-191 : 2-メトキシ-6-クロロ-9-[3-(2-クロロエチル)アミノプロピルアミノ]  
アクリジン・2HCl

\* : 被験物質による生育阻害が認められたことを示す。

NT : 試験せず。

( )内は、2枚のプレートの平均値を示す。

(別表5)

## 試験結果表 (追加試験:+S9Mix)

被験物質の名称: 9-ビニルカルバゾール

No. T-3097

試験実施期間		2019年12月17日 より 2019年12月20日			
代謝活性化系の有無	被験物質の用量 ( $\mu\text{g}/\text{プレート}$ )	復帰変異数(コロニー数/プレート)			
		塩基対置換型		フレームシフト型	
		TA100	TA1535	TA98	TA1537
S9Mix (+)	陰性対照 (DMSO)	125 135 ( 130 )	12 8 ( 10 )	35 29 ( 32 )	18 18 ( 18 )
	0.153	142 128 ( 135 )	NT	NT	NT
	0.305	176 177 ( 177 )	NT	NT	NT
	0.610	367 376 ( 372 )	NT	38 38 ( 38 )	NT
	1.22	898 989 ( 944 )	NT	47 41 ( 44 )	NT
	2.44	1557 1655 ( 1606 )	7 16 ( 12 )	61 83 ( 72 )	31 39 ( 35 )
	4.88	1723 2212 ( 1968 )	18 15 ( 17 )	157 173 ( 165 )	51 48 ( 50 )
	9.77	NT	19 15 ( 17 )	302 336 ( 319 )	24 35 ( 30 )
	19.5	NT	17 13 ( 15 )	532 483 ( 508 )	5 6 ( 6 )
	39.1	NT	7 * 5 * ( 6 )	NT	2 * 4 * ( 3 )
	78.1	NT	4 * 4 * ( 4 )	NT	5 * 0 * ( 3 )
陽性対照	名称	B[a]P	2AA	B[a]P	B[a]P
	用量 ( $\mu\text{g}/\text{プレート}$ )	5.0	2.0	5.0	5.0
	コロニー数/プレート	1100 1299 ( 1200 )	231 267 ( 249 )	280 269 ( 275 )	101 93 ( 97 )

(備考)

B[a]P : ベンゾ[a]ピレン

2AA : 2-アミノアントラセン

\* : 被験物質による生育阻害が認められたことを示す。

NT : 試験せず。

( )内は、2枚のプレートの平均値を示す。

(別表6)

## 試験結果表 (確認試験)

被験物質の名称： 9-ビニルカルバゾール

No. T-3097

試験実施期間		2019年12月17日 より 2019年12月20日	
代謝活性化系の有無	被験物質の用量 ( $\mu\text{g}/\text{プレート}$ )	復帰変異数 (コロニー数/プレート)	
		塩基対置換型 WP2uvrA	
S9Mix (-)	陰性対照 (DMSO)	29	
		25	( 27 )
S9Mix (+)	陰性対照 (DMSO)	24	
		24	( 24 )
	1.22	31	
		44	( 38 )
	2.44	90	
		64	( 77 )
	4.88	146	
	175	( 161 )	
S9Mix (+)	9.77	244	
		270	( 257 )
	19.5	250	
	292	( 271 )	
陽性対照	S9Mixを必要としないもの	名 称	AF-2
		用量 ( $\mu\text{g}/\text{プレート}$ )	0.01
		コロニー数/プレート	142
		155	( 149 )
	S9Mixを必要とするもの	名 称	2AA
		用量 ( $\mu\text{g}/\text{プレート}$ )	10.0
コロニー数/プレート		740	
	749	( 745 )	

(備考)

AF-2 : 2-(2-フリル)-3-(5-ニトロ-2-フリル)アクリルアミド

2AA : 2-アミノアントラセン

( )内は、2枚のプレートの平均値を示す。

(別表7)

## 試験結果表 (確認試験)

被験物質の名称： 9-ビニルカルバゾール

No. T-3097

試験実施期間		2019年12月17日 より 2019年12月20日	
代謝活性化系の有無	被験物質の用量 ( $\mu\text{g}/\text{プレート}$ )	復帰変異数 (コロニー数/プレート)	
		フレームシフト型 TA1537	
S9Mix (-)	陰性対照 (DMSO)	16	
		8	( 12 )
S9Mix (+)	陰性対照 (DMSO)	7	
		10	( 9 )
	1.00	19	
		6	( 13 )
	2.00	22	
		30	( 26 )
	3.00	30	
	28	( 29 )	
4.00		43	
		45	( 44 )
		30	
5.00		37	( 34 )
陽性対照	S9Mixを必要としないもの	名 称	ICR-191
		用量 ( $\mu\text{g}/\text{プレート}$ )	1.0
		コロニー数/プレート	1162 1513 ( 1338 )
	S9Mixを必要とするもの	名 称	B[a]P
		用量 ( $\mu\text{g}/\text{プレート}$ )	5.0
		コロニー数/プレート	87 93 ( 90 )

(備考)

ICR-191 : 2-メトキシ-6-クロロ-9-[3-(2-クロロエチル)アミノプロピル  
アミノ]アクリジン・2HCl

B[a]P : ベンゾ[a]ピレン

( )内は、2枚のプレートの平均値を示す。

(別表8)

## 比 活 性

被験物質の名称：9-ビニルカルバゾール

No. T-3097

	菌株名	-S9Mix		+S9Mix	
		比活性	計算に使用した用量 ( $\mu\text{g}/\text{plate}$ )	比活性	計算に使用した用量 ( $\mu\text{g}/\text{plate}$ )
用量 設定 試験	TA100	$9.12 \times 10^4$	4.88	$4.29 \times 10^5$	1.22
	TA1535				
	WP2 <i>uvrA</i>			$1.52 \times 10^4$	4.88
	TA98	$5.95 \times 10^3$	19.5	$2.42 \times 10^4$	4.88
	TA1537			$5.74 \times 10^3$	4.88
本 試 験	TA100	$1.14 \times 10^5$	2.44	$8.54 \times 10^5$	1.22
	TA1535				
	WP2 <i>uvrA</i>			$1.57 \times 10^2$	313
	TA98	$8.10 \times 10^3$	19.5	$3.83 \times 10^4$	4.88
	TA1537			$1.27 \times 10^4$	2.44
追 加 試 験	TA100	$1.05 \times 10^5$	2.44	$6.67 \times 10^5$	1.22
	TA1535				
	TA98	$4.72 \times 10^3$	19.5	$2.94 \times 10^4$	9.77
	TA1537			$6.56 \times 10^3$	4.88
確 認 試 験	WP2 <i>uvrA</i>			$2.81 \times 10^4$	4.88
	TA1537			$8.75 \times 10^3$	4.00

図 1

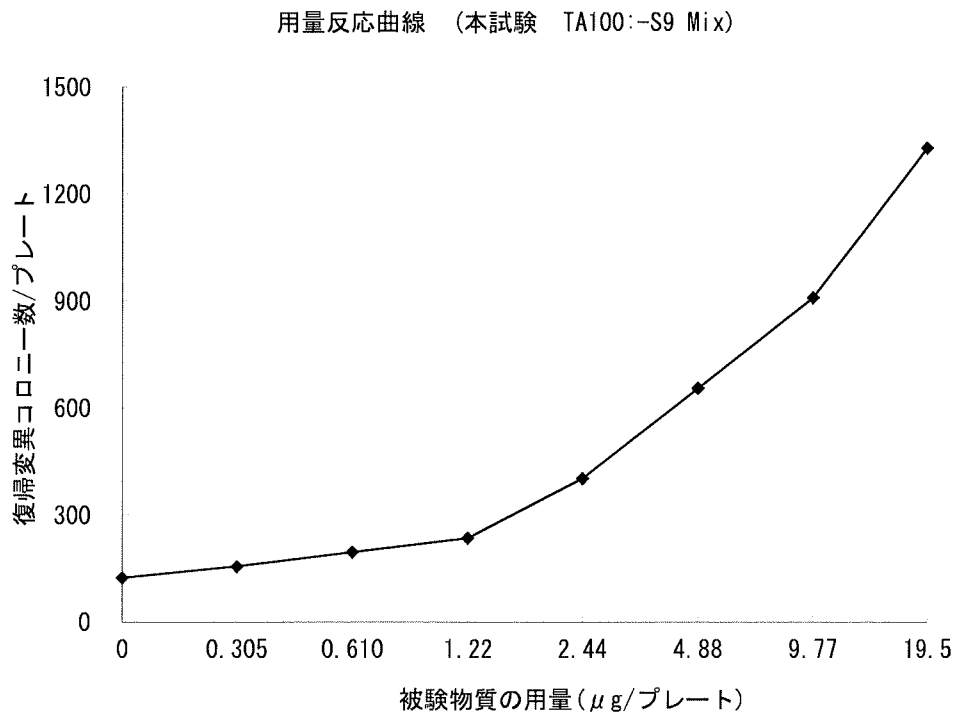


図 2

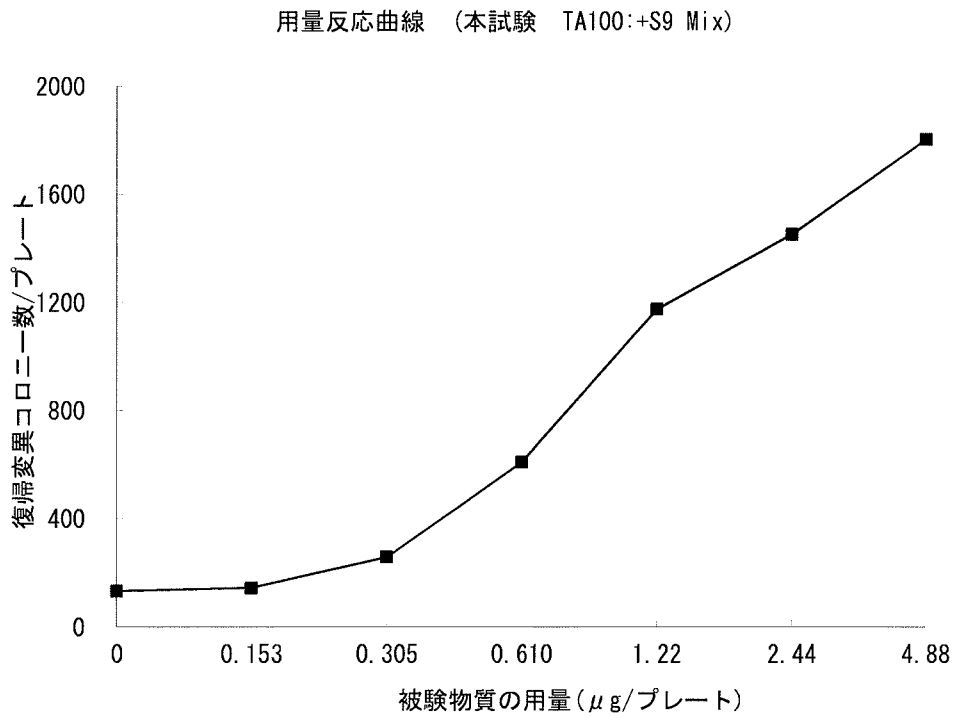




図 3

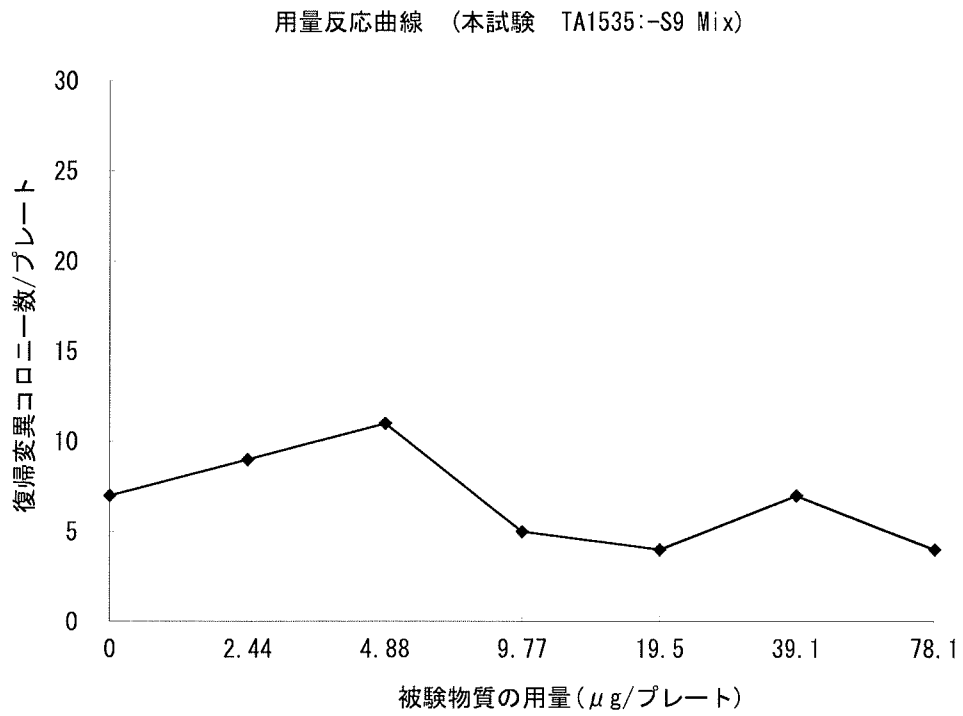


図 4

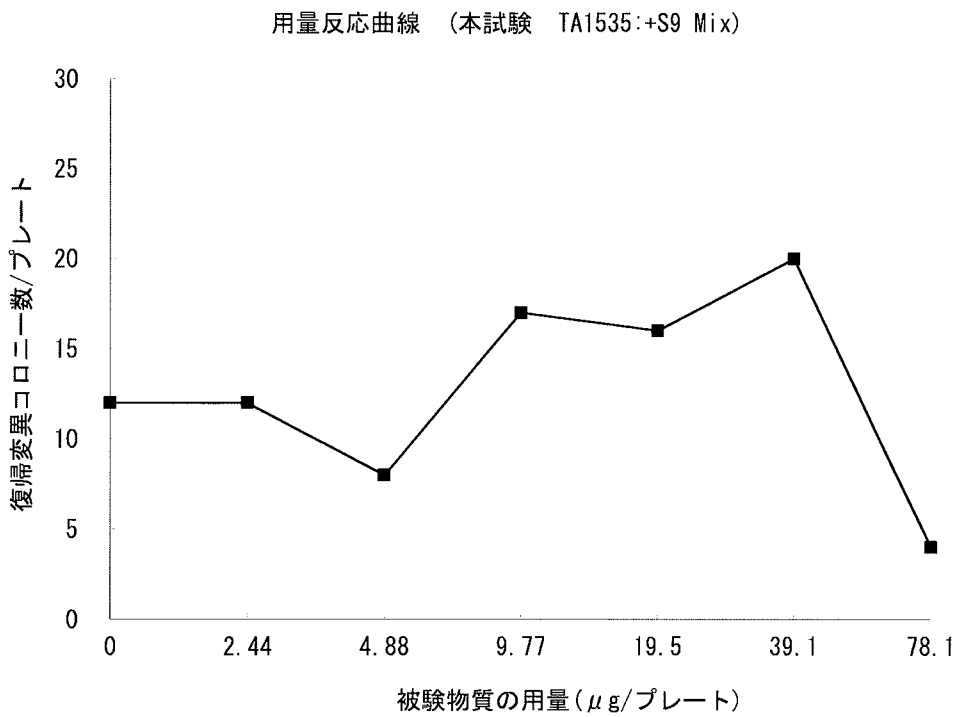


図 5

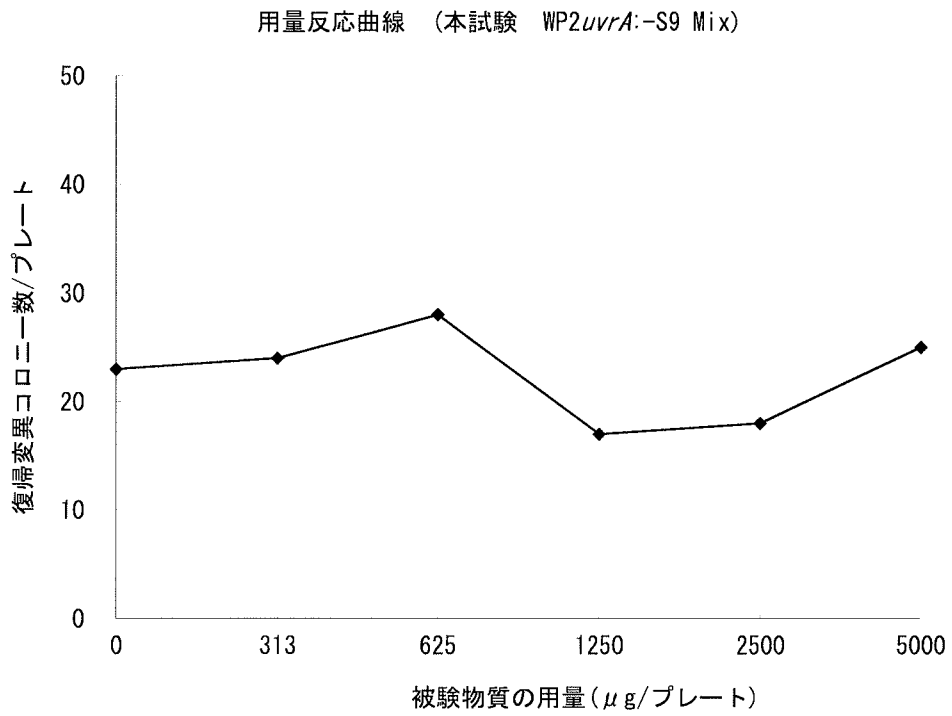


図 6

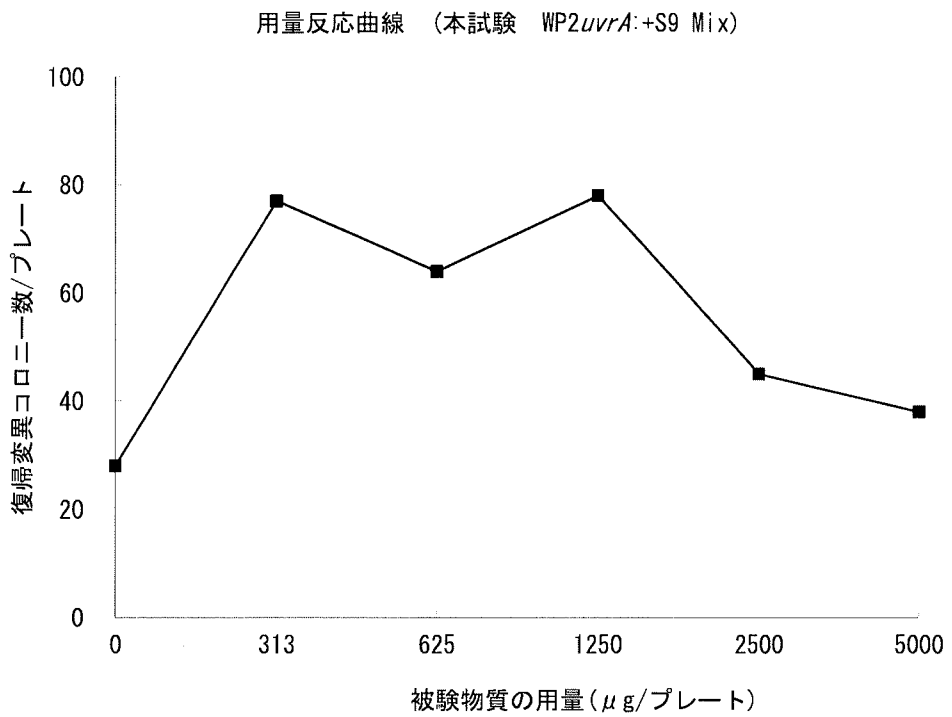


図 7

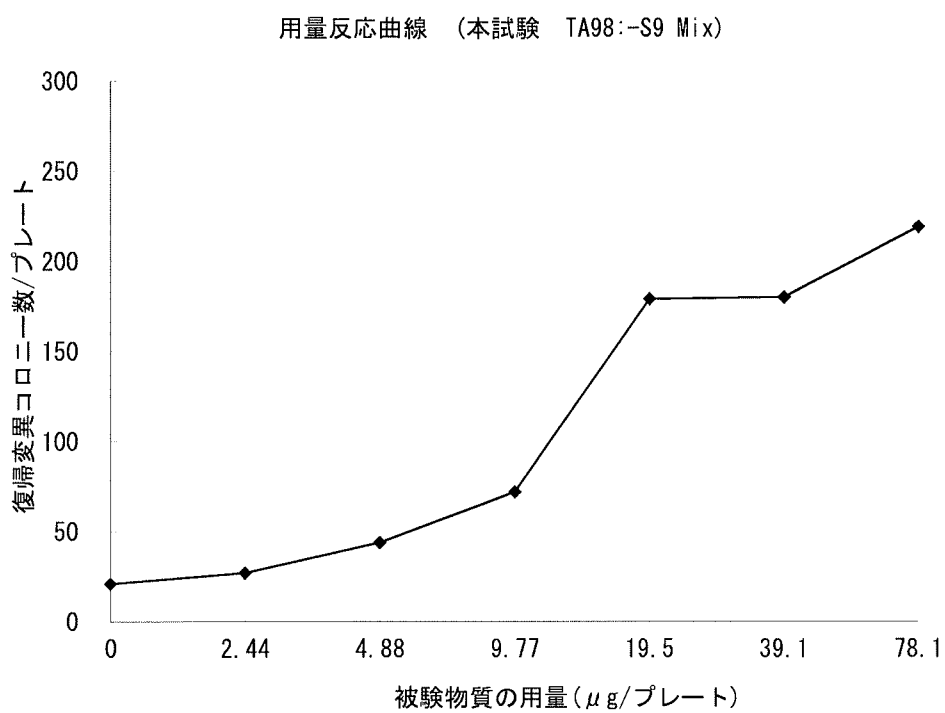


図 8

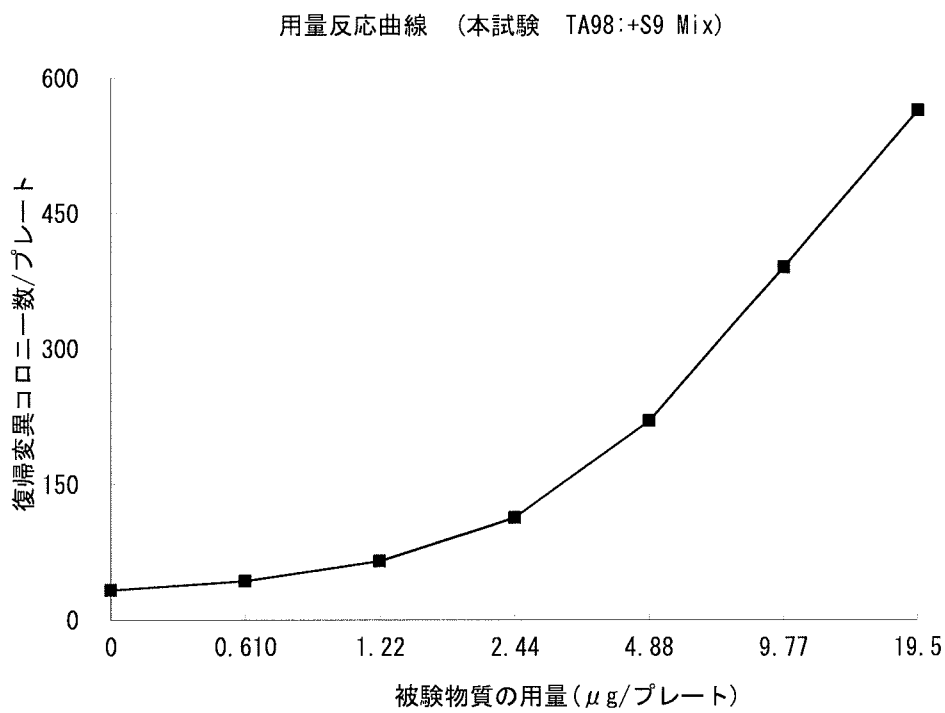


図 9

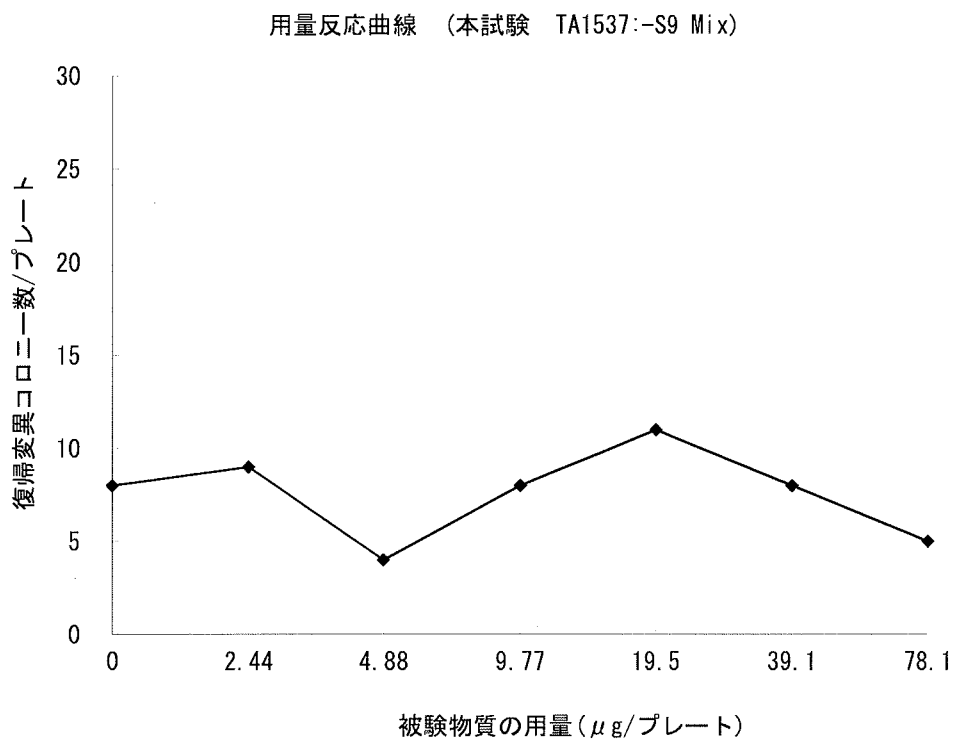


図 10

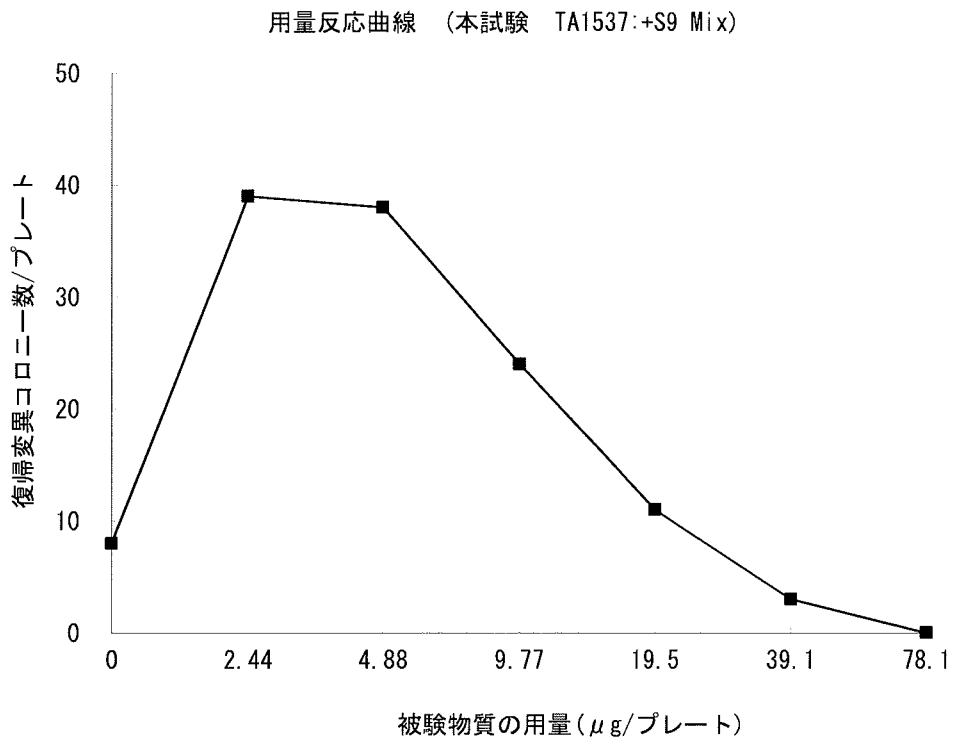


図 11

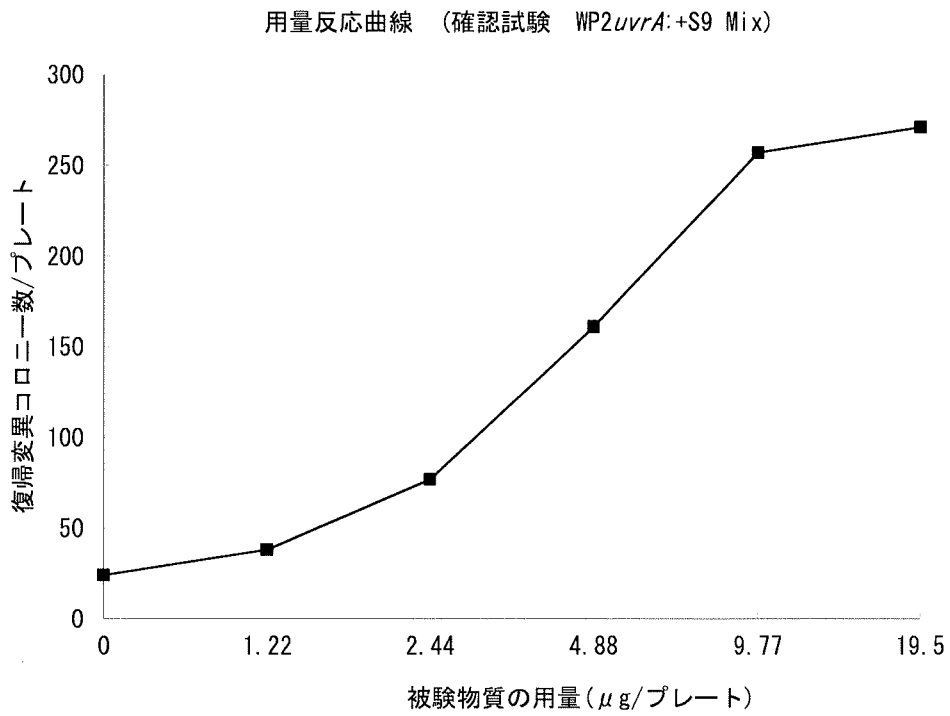
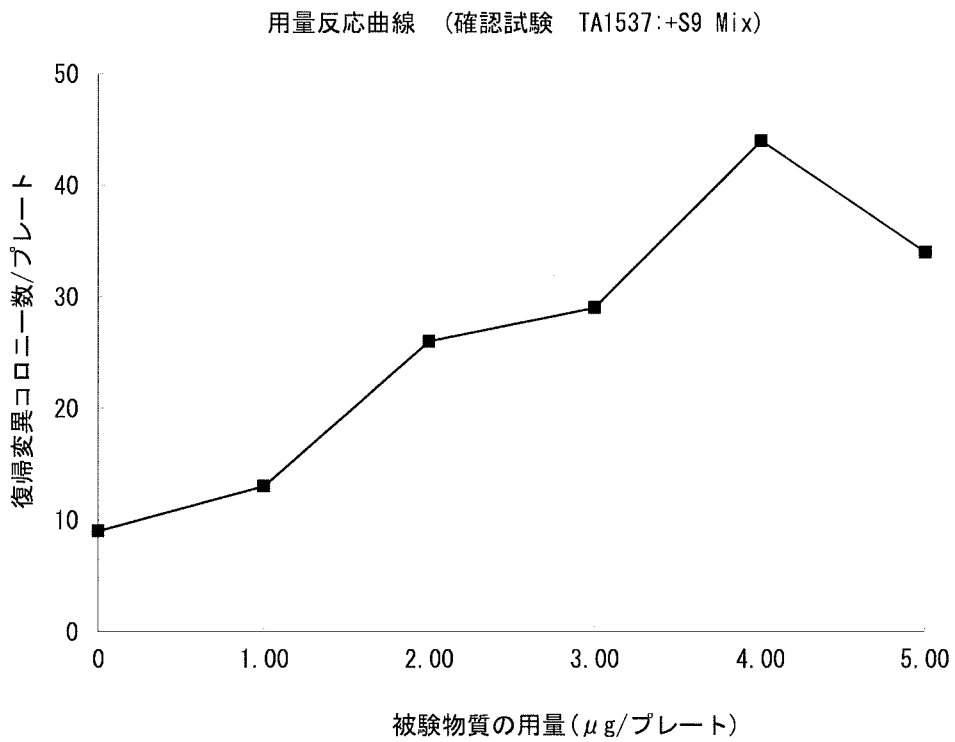


図 12



## Background Data

Test Category : Bacterial reverse mutation test (Preincubation Method)

CODE No. : 190924

Period : From September 20, 2019 to September 24, 2019

Tester Strains	S9 Mix (-) or (+)	Classification	Mean	S.D.	Management ranges		Number of plates
					Lower limit	Upper limit	
TA100	-	Solvent control	107	13	69	146	20
		Positive control AF-2 (0.01 µg/plate)	565	87	302	827	20
	+	Solvent control	121	11	87	154	20
		Positive control B[a]P (5.0 µg/plate)	977	90	708	1247	20
TA1535	-	Solvent control	10	4	1	20	20
		Positive control SAZ (0.5 µg/plate)	305	44	174	437	20
	+	Solvent control	10	3	1	20	20
		Positive control 2AA (2.0 µg/plate)	231	28	146	316	20
WP2 <sub>uvrA</sub>	-	Solvent control	29	7	9	49	20
		Positive control AF-2 (0.01 µg/plate)	101	21	38	164	20
	+	Solvent control	30	7	9	52	20
		Positive control 2AA (10.0 µg/plate)	611	84	358	864	20
TA98	-	Solvent control	26	5	11	42	20
		Positive control AF-2 (0.1 µg/plate)	399	32	304	495	20
	+	Solvent control	37	7	16	57	20
		Positive control B[a]P (5.0 µg/plate)	282	22	218	347	20
TA1537	-	Solvent control	7	4	1	18	20
		Positive control ICR-191 (1.0 µg/plate)	1406	267	605	2208	20
	+	Solvent control	10	3	2	18	20
		Positive control B[a]P (5.0 µg/plate)	83	12	47	119	20

(Notice)

Solvent controls Water, Dimethyl sulfoxide(DMSO)

Positive controls AF-2 : 2-(2-Furyl)-3-(5-nitro-2-furyl)acrylamide

SAZ : Sodium azide

ICR-191 : 2-Methoxy-6-chloro-9-[3-(2-chloroethyl)aminopropylamino]acridine·2HCl

B[a]P : Benzo[a]pyrene

2AA : 2-Aminoanthracene

S9Mix (-) : without metabolic activation

(+) : with metabolic activation